

2015年
入試用

学校説明会レポート



麗澤中学校・高等学校

- 日時** 2014年6月18日(水) 10時40分～12時00分
- 所在地** 柏市
- 会場** 階段教室
- 対象** 塾
- 出席者数** 約100名
- 配付資料** 中・高等学校案内、中学「叡智コース」パンフレット、中・高生徒募集要項、26年度中学入試問題、麗澤の英語教育と言語技術教育、レジューメ、中高ポスター、千葉県私学ガイドブック、私学フェア案内、アンケートなど

説明会の概要

あいさつ 竹中校長 10:40～10:55

- 本校の教育内容をよく理解していただき、また、優秀な塾生を紹介していただきありがとうございます。
- 来年「叡智コース」という名称の新コースで生徒を募集します。中学開校後13年が経過し、開校当時の生徒はすでに社会で活躍しています。新カリキュラム発足後、どこの学校でも英語に力を入れていますが、本校には独自の道德教育があります。自分の考えを伝えるときに相手の気持ちを考えるなど、道德教育を重視して言語力と英語力の向上を図ってきました。ところが、千葉県では「道德」が必修となり、そこでさらに本校独自の特色を出したいと考えました。「道德」とは、自分もいい、相手もいい、周りの人もみんないい、という状態を指します。この状態は社会に出ても必ず役に立ちます。これを「叡智」と称し、三方良しとして周りに影響を与えられる人に育ててほしいと思っています。来年はこの新コース生を募集します。

進路指導及び進路状況について 高校教頭 松本先生 10:55～11:02

- 平成26年春は開校以来最高の合格実績が出た年となりました。国公立大に卒業生の25%、GMARCH以上の私立大に90%が合格しました。質の高い授業やコース制のほか、長期休暇の講座などの学習補完体制がしっかりしていることが、こうした結果につ

なっていると思います。さらに2つ加えると、1つ目は中高連携指導です。中3の部活引退後に大学入試を視野に入れた高いレベルの指導を放課後、希望者対象で行い、多くの生徒が参加しています。2つ目は自立的学習支援体制として高1からの個別指導と高3の休日学習会です。個別指導は、個別あるいは1：2で指導を行い、3学期の国公立大学の2期試験まで続けます。

教育内容及び新コース制度について

中学教頭 森川先生 11：02～11：17

- 言語技術とは、自分の考えたいことや伝えたいことを相手に論理的に説明する能力のことです。それを養成するために、一つの事柄について、主張・根拠・まとめまでの文章が書けるように、問答ゲームなどを使い、繰り返し考えさせています。
- 英語教育では4技能を伸ばすメソッドを考えています。例えばスピーキングでは英語研修を、ライティングでは説明文や比較レポ、エッセイが書けるようになるまでを最終目標とし日々取り組んでいます。GTECの成績では、中3の本校生の成績は公立高校の3年生の平均的な成績を上回っています。
- 「叡智コース」で養う力は「5つのL」で表せます。ランゲージ、ロジカル、リベラル、リテラシー、リーダーシップを身に付けることで、叡智が働きます。麗澤ではこの根幹に道德教育を置いています。論理的思考のできる生徒を育て、将来は東大を目指します。募集はAE（アドバンスト叡智）コースが1クラス、EE（エッセンシャル叡智）コースが3クラスになります。

平成26年度入試結果と平成27年度生徒募集について

企画開発室長・入試広報部長 窪田先生 11：17～11：35

- 中学の過去3年間の受験者数の比較は、2013年は少し落ち込みましたが2014年は2012年並みに復活しました。一安心というところです。常磐線沿線に住む生徒が増えて、受験者が増えました。中学は船橋会場で入試を行ったこともあり、総武線沿線の生徒が増え、入学者では市川市の生徒が増えています。
- 【変更点】
 - 中学①：コース別の募集となります。150名から140名に減ったように見えますが、合格者レベルで見ると変化はありません。AEコース（30名）、EEコース（110名）です。AE第一志望者は、EEを第二志望にできスライド合格があります。
 - 中学②：入学成績優秀者は特別奨学生として認定します。
 - 中学③：第1回日程を早め、その結果第1回は新設回となります。船橋会場もあります。
 - 中学④：AEコースのみ国語・算数を1.2倍の傾斜配点とします。
 - 中学⑤：AE、EEコースとも面接試験は行いません。
 - 中学⑥：1～3回の合格発表はインターネットです。時間が22：00と遅いですが、保護者の方に確認してもらってください。

- 高校入試は、高校の大学合格実績が順調なので、特進・文理とも受験生が増えています。過去問を何回も解いて入試の得点率を参考にして練習してください。2014年の高校の過去問は8月下旬に発売します。ここで簡単に各教科の評価をしておきます。

英語：長文や問題の量が多く、単語数も多いです。塾での指導が行き渡っていたためか、皆さんよく勉強していて、学力層の高い受験生が多かったようです。後ろの方の問題が手つかずという受験生がいたので、時間配分に気をつけていただきたいと思います。

数学：年によって難しい出題をしたときもありますが、よく考えれば解ける問題が多いです。基礎問題はほぼ得点できていました。

国語：表の説明など大学入試レベルのものも出題します。問題文を一読してから、問いに入り、何をどう解答すればいいのか考えてほしいと思います。

生徒発表

ラグビー部の中3生より 11:35~11:40

- 麗澤に入って驚いたことが3つあります。1つ目は言語技術教育です。宿題は多いし、たくさんの文章を書くのがいやでとても辛かったです。でも、慣れてきたら苦にならなくなり、相当長い文章でも書けるようになりました。2つ目は英語の授業です。僕の予想とはずいぶん違う授業が行われていました。ネイティブの先生と英語で話し、教材なども普通の学校とは違うものを使います。麗澤独自の工夫がされていて最初は苦手だった英語が、だんだん成績が上がり楽しくなりました。夢プロという授業では、将来就きたい仕事などを調べて発表するのですが、調べることで発見があり、仲間との話し合いやパワーポイントなどを使って行う授業はとても楽しいです。

中学入試問題について

11:40~12:00

国語科：上平先生

- 受験生必修の国語力として、説明文では論理的思考が挙げられます。筆者の述べたことを的確に捉え、主張に迫ることが必要です。論理的展開をする際には、社会に対する意見を持つことが重要です。物語文では時代感を持って作者のイメージにふれ、読者に伝えたいメッセージをくみ取ることが必要です。本校の文章は少々難解といわれていますが、小学生に是非読んでほしい文章を取り上げています。

算数科：室谷先生

- 叡智とは知識を踏まえ優れた知恵として表現できるということと思い、これを踏まえて出題しました。計算問題はほぼできていました。時計に関する問題は長針と短針が5.5度ずつ変化していくことに気づけばさほど難しくなかったと思います。図形問題については複雑な計算があり、時間が足りなかった受験生が見られました。次年度の変更点として、今までは答えのみの解答欄でしたが、問5だけは答えとその過程を説明するものにしました。

社会：山本先生

- 大きな変更点はありません。漢字指定や文字数の指定に従って解答してください。大問5題で、地理・歴史を2題ずつ、公民を1題出します。地理では日本地図と産業、世界地理の国名と特徴をつかんでおいてください。歴史では古代から江戸時代までを1題、明治以降を1題出します。年代が幅広いので有名な人物と出来事を勉強してください。公民については、憲法・政治・人権などを幅広く扱い、時事問題も押さえておいてください。

理科：和田先生

- 2014年は大問5題で4分野から均等に出題しました。小問集合では選ぶのが難しかった問題もあったようです。計算問題では今まで持っている知識を使い、与えられた前提の使い方がポイントになっていました。授業では当たり前すぎて素通りしてしまう、例えば石灰水の幕などに気づくと、解答できたようでした。グラフを利用する問題ではそこから何を読み取るかが問われていて、正答率が低かったようです。グラフは読む・作る・書くという方面からの学習をしてほしいです。

説明会の雰囲気・印象

- 説明会の開始前に校内の自由見学があり、どうぞ学校のすべてをご覧くださいというメッセージで、開放的かつ堂々としている学校の姿勢が感じられました。説明会は多くの先生の発表と生徒の組みあわせが微笑ましく、和やかな会だったと思います。

学校周辺の環境

- 広池学園の校地に一步入ると、整然と木々が配置されていて緑が多く、とてもすがすがしいさわやかな気分になりました。中高の敷地は学園の奥まったところにあります。食堂・売店・会議室・体育施設などが点在して、全体的に広々とした感じがします。庭では美術の時間でしょうか、写生をする生徒たちの姿もあり、時間がゆったりと過ぎていくように感じました。

交通

- JR常磐線 南柏駅から バスで約5分